

ひとわざ(一技)名: 震災の被害緩和をM2Mの力でバックアップ!

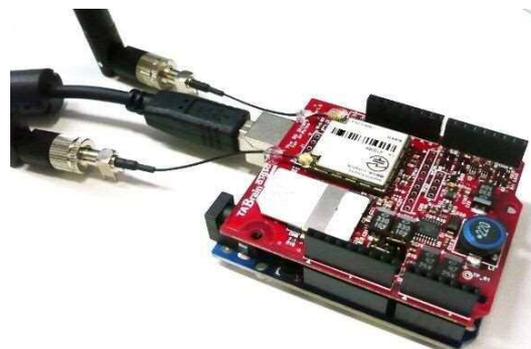
1. 概要(200字目安)

電子システム工学科前山研究室では、M2M(マシンtoマシン)通信による様々なアプリケーション開発を進めています。その一つが遠隔監視です。光、温度、湿度などさまざまなセンサーからの情報を一定時間間隔でデータを取得し、クラウドネットワークに蓄積します。たとえば建造物の状態を長期に収集し、変動の異常性を認識することで震災、災害予知に活用できると考えています。この技術は、植物の育成の監視など植物工場への適用も可能です。

写真・図(要点説明)



xivelyを利用した
長時間データ収集



3Gシールドとマイコンボード
による
M2Mデバイス

2. 企業概況

会社名	拓殖大学産学連携研究センター		代表者名	川名 明夫	
			窓口担当	学務部八王子学務課(工学部)	
事業内容	大学と企業・自治体等との連携		URL	http://www.takushoku-u.ac.jp/laboratory/crc.html	
主要製品	-				
住所	〒193-0985 東京都八王子市館町815-1				
電話/FAX	TEL 042-665-1447/FAX 042-665-1519		E-mail	kenkyu@ofc.takushoku-u.ac.jp	
資本金(百万円)	-	設立年月日	平成17年10月1日	売上(百万円)	-
				従業員数	-

特記事項(①特許取得・各種認証等取得状況②提供できる価値及び応用分野③医療分野参入(取引)実績 他